

## ■ Roadコンサルティングからの人材育成情報

### サッカー学生応援プロジェクト / 2021年サッカー学生・インターンシップ開催

6月21日（月）、6月22日（火）の2日間で2021年サッカー学生・インターンシップを開催致しました。

サッカー学生・応援プロジェクトの内容は以下のリンクよりご覧ください。

<https://road-consulting.jp/service/sports-student-support-pj/>

この度のインターンシップでは本プロジェクトのパートナー協定を結んでおります。常葉大学浜松キャンパスサッカー部の学生3,4年生の3名に御参加頂きました。実施内容は本プロジェクトにご賛同頂きました株式会社アーバンゲート様、社会福祉法人誠信会様、株式会社エンチョー様、株式会社キャリアドライブ様、特定非営利活動法人シンセア様の会社見学。そして本プロジェクトが大切にしている朝活を実際に体験して頂きました。



▲オリエンテーション後の参加学生・参加企業様との集合写真

参加企業様の会社見学では、少人数形式ということもあり、どんな会社なのか、どんな仕事をしているのかを学生1人1人の細かいご質問にまでお答え頂き、参加学生に参加企業様の概要について理解していただく事ができました。

また、参加学生が仕事に対して熱い思いを持って取り組んでいらっしゃる先輩社会人に触れる機会を設けて頂き、サッカー選手以外にもプロとして思いを持って活躍できる場があることに気付いて頂くことができたことと実感しております。



▲誠信会様にて、先輩社員に質疑応答している参加学生



▲アーバンゲート様にて、中村社長の会社設立した思いについて真剣に聞いている参加学生

2日目の朝活では、論語勉強会を実施致しました。論語勉強会では心を高め、良き習慣を身につけることを目的としています。なぜ心を高める必要があるのか。それは1人1人が幸福な人生を送るためです。そこで朝活では章句を読んで感じたこと、考えたことを素直に発表し、実践に向けて学びを深めています。今回は以下の章句を読み、1人1人感想を発表して頂きました。

■章句 子曰（のたま）わく、徳は孤（こ）ならず、必ず隣有（あ）り  
参加学生の感想では「徳の意味を調べました。徳とは立派な品性や精神の修養によって得た優れた品性、人脈と記してありました。徳とは努力で身につけていくものだとわかりました。徳を積む努力を日頃から意識して行動したい」と章句の意味を深く考え、論語で学んだことを自分の素直な言葉にして発表して頂きました。

この度の2021年サッカー学生・インターンシップでは至らない点が多く、ご協力頂きました皆様にご迷惑をおかけしたことと存じますが、最後までお付き合い頂き、心より感謝申し上げます。



▲Roadコンサルティング事務所にて朝活を実施している参加学生。論語勉強会を実施する前に、なぜ論語を勉強するのか弊社代表の大道より説明させて頂きました。

### 新入社員の論語勉強記！

親友社員の大道桂三です。新入社員として良き習慣を身につけるために論語を学び、毎週1章句ずつ感じたことを発信させて頂いております。

- 章句 子曰（のたま）わく、故（ふる）きを温（たず）ねて新しきを知る、以（もつ）て師と為るべし。
- 約 先生がおっしゃった。昔の人の教えや過去のことについて学び、そこから新しい考え方や物事への取り組み方を見つけられたら、その人は良い先生となるでしょう。
- 感想 人に教えられる程の深い学びでなければ、新しいことなど見つけられるはずがないことを痛感しました。今後学ぶうえで次の事を行動習慣にしていきたいと思います。“わかったではなく、人に教えられる範囲まで学ぶ”。本来の学びとは学んだことを実践することです。まずは学びを深め、正しい意味を理解することから意識して取り組んでまいります。

[Roadコンサルティング 新入社員の論語・勉強体験記！] <https://road-consulting.jp/category/study/>



## ■ 社労士オフィスロードからの労務情報

### コンサルティング事例紹介/職場環境改善プロジェクト

特定非営利活動法人シンセア様にて伴走支援させて頂きました「職場環境改善プロジェクト」の事例をWebサイトに掲載させて頂きました。本プロジェクトは成果を出せるチームづくりを目指して半年間に渡り実施致しました。全社員を対象にハラスメントに関するアンケートや研修を実施して現場の課題を明らかにしました。その上で経営幹部によるワークショップを実施し、職場改善に向けたルールづくりにチャレンジしました。詳細はこちらよりご覧ください <https://office-road.jp/case/case006/>



### 7/31まで雇用調整助成金特例措置の延長

令和3年6月30日が期限とされていた雇用調整助成金の特例措置が7月31日まで延長することになりました。8月以降の特例延長についても検討がなされております。

特例措置の内容		判定基礎期間の初日	～4月末	5月・6月・7月	
中小企業	原則的な措置 【全国】		4/5 (10/10) 15,000円	4/5 (9/10) 13,500円 ①	
	業況特例(※1) 【全国】		-	4/5 (10/10) 15,000円 ②	
	地域に係る特例 (※2)	緊急事態宣言		-	4/5 (10/10) 15,000円 ②
		まん延防止等重点措置		-	4/5 (10/10) 15,000円 ②

5月1日以降の雇用調整助成金の支給申請様式が変更されております。以下の最新の様式を確認した上でご申請下さい。ご不明な点がございましたらサポートしますのでお問合せ下さい。

(厚生労働省/雇用調整助成金の様式ダウンロード)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyouchou/sei\\_joseikin\\_20200410\\_forms.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyouchou/sei_joseikin_20200410_forms.html)

### キャリアアップ助成金 正社員コース

「キャリアアップ助成金」とは、非正規雇用労働者のキャリアアップなどを応援する事業主に対して助成される制度です。正社員化コースは、契約社員(契約期間があり)を正社員等(契約期間なし)に切り替えた場合に事業主に支払われる助成金です。社員の採用・定着・育成を見通した中で就業規則等に転換制度を設けて計画的に活用することができるコースです。

【例】契約社員(契約期間1年)を正社員に転換させた場合  
有期契約社員 → 正規社員 1人当たり57万円  
(生産性向上の要件を満たす場合72万円)  
※受給のためには諸々の条件を満たす必要があります。

入社歴が浅い契約社員さんやパートさんが働いており、しばらく働きぶりを見て良ければ正社員にしたい! そんな風に考えている会社様にお勧めのコースです。お気軽にご相談ください。  
(厚生労働省/キャリアアップ助成金)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_rodou/part\\_haken/jigyounushi/career.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_rodou/part_haken/jigyounushi/career.html)

### 生産性の本質は時短ではなく大義にあり/ブログより

顧問先様を中心に業務の生産性向上についての御相談を頂きます。大まかに言うと以下のような相談内容です。

- 情報共有ツールを活用して無駄な会議をなくしたい。
- オンラインを活用してコスト(経費・時間)を削減したい。
- 働き方改革もある。生産性を高めて、残業時間を減らしたい。
- アナログで非効率な作業をシステム等を導入して改善したい。

このように整理してみると「時短」に関するものが多いのが分かります。そもそも生産性とは、投入した資源(インプット)に対して得られる成果物(アウトプット)の量の比率で、(生産性 = アウトプット / インプット)の式で表すことができます。つまり、分母である投入資源(インプット)を減らし、分子である得られる成果物(アウトプット)を増やしていくのが、生産性向上の取組と言えます

時短はインプットを減らす取組ですから、生産性の向上に確実に貢献するように思います。しかし、実際には生産性向上に至らないケースが少なくないと感じています。私はその原因を時短に取り組む大義(目的)がないからだと分析しています。

会社や組織に成し遂げたい大義(目的)や志がある場合は、無駄な時間を省いて重要な仕事に注力することが必要になりますから、時短(インプットの削減)は継続され、アウトプットが高まり、結果として生産性の向上を達成することができます。

一方で、時短すること自体が目的化してしまうと、時短することが大義となります。このケースはとて危険です。何でも簡素化すれば良いと表面的な改善が進み、コミュニケーションが不足し、社員同士の信頼関係が揺らいでいきます。そうなるとう当然ですがアウトプットは低下します。そして、そんな状況下での時短の取組は不安定になりますので、ミス、二度手間、コミュニケーションエラーが頻発し、インプットは減るところか増えてしまうわけです。

改めて大義(目的)を掲げて仕事をする事の大切さを痛感します。人間は大義がなければ努力を継続することが難しい生物だと思います。

【隔週程度のペースでブログを更新しています。宜しければぜひご覧ください! <https://office-road.jp/category/blog/>】

